

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
オオミドリシジミ	シジミチョウ科	ミドリシジミ類の先頭 比較的薄い青緑の輝き	x	x	○	本州以南

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹		発生回数/年		越冬形態							
コナラほか (ブナ科)		1		卵							



川崎市 6月9日 (2001年) ♂の占有行動



川崎市 6月7日 (2019年) ♂ 樹の上 (6~7m) だと羽の裏しか見えないが最近なかなか下に降りてこない

初夏から梅雨時にかけて、「ゼフィルス」(西風の精)という愛称で親しまれている一群の蝶がいます。その中でも特にミドリシジミたち (x x ミドリシジミという蝶が日本に13種類います) のオスは自らのテリトリーを守るため占有行動、即ち、自分の領域に他のオスが入ってくると追尾して追いだそうとします。この際に二頭、三頭がクルクル旋回しながらもつれあい、卍巴 (まんじどもえ) でしばらくの間キラキラと輝きながら飛ぶ光景は見飽きることがありません。オオミドリシジミは都市近郊にも見られ、生田緑地でも少なくともはなりましたがその姿をみることができます。オスの活動は早朝で、メスは目立たない濃灰色です。

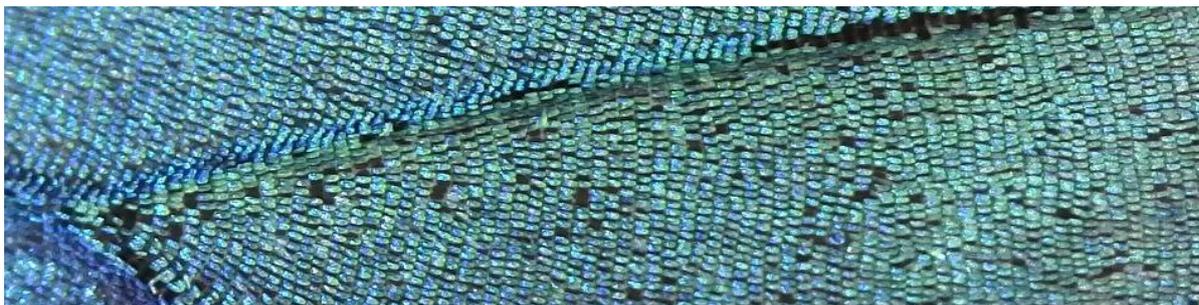


川崎市 ♂  
6月12日 (2005年)

## ミドリシジミ類の構造色の違い

(見る角度によっても微妙に変化する)

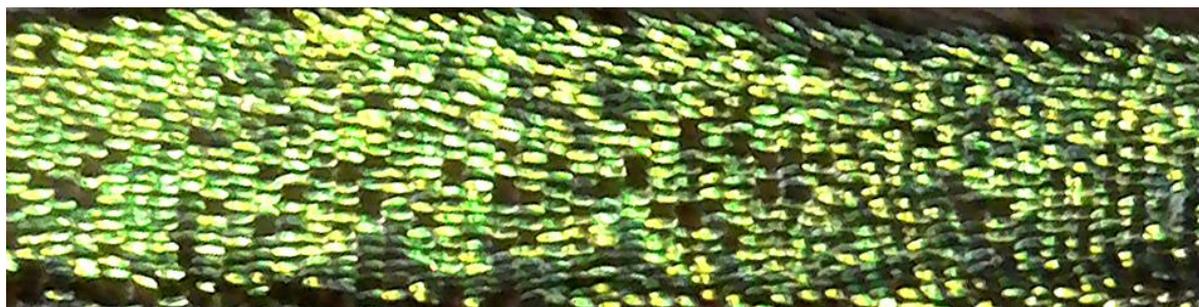
### オオミドリシジミ



### ミドリシジミ



### アイノミドリシジミ





相模原市 6月21日 (2021年)

ハヤシミドリシジミが目的で  
登った山の山頂はオオミドリ  
シジミが多かった



相模原市 6月21日 (2021年)

上の続き：ハヤシミドリシジミ  
の新鮮なメスが這い上がってき  
た



相模原市 6月21日 (2022年)

丁度1年後、同じ山頂の  
オオミドリシジミ



相模原市 6月30日（2022年） 山頂のオオミドリシジミ



平塚市 6月7日（2023年） ちょっと遠出して平塚の有名スポットに足を伸ばしたが少し時期遅れ



ハヤシミドリシジミ 相模原市 6月30日（2021年） 小雨模様だったが塗れた下草で開翅する♂発見



ハヤシミドリシジミ 相模原市 6月21日（2022年） 唯一山頂のカシワの葉上で見つけたハヤシ



ハヤシミドリシジミ 相模原市 6月21日（2022年） 上の続き：待っている内に曇っていたが開翅